

ひと まち もり  
人は街で、ヒグマは森で。

わ あんぜん あんしん く めざ  
～すみ分けによる安全・安心な暮らしを目指して～

き ほん けい かく あん  
「さっぽろヒグマ基本計画2023(案)」  
い けん ぼ しゅう  
ご意見募集

し やくしょ し みる あんぜん あんしん かくほ ひと  
市役所では、市民のみなさんの安全・安心を確保するため、そして人とヒ  
グマの共生を目指すため「さっぽろヒグマ基本計画2023(案)」を作っ  
ています。札幌の未来を担うみなさんのご意見を参考にして、より良  
い計画にしたいと考えていますので、このパンフレットを読んで、気づ  
いたことや考えたこと、やってみようと思ったことを教えてください。



ぼ しゅう き かん  
募集期間

れいわ ねん がつ にち すい れいわ ねん がつ にち きん  
令和5年2月15日(水) ～ 令和5年3月17日(金)まで

保護者の皆さまへ

このパンフレットは「さっぽろヒグマ基本計画 2023」の策定にあたって、子どもたちの意見を聞くために作成したものです。ぜひ、ご自宅等でお子様と一緒に読みいただき、ご意見をお寄せください。



## 「さっぽろヒグマ基本計画」って？

ヒグマは、日本では北海道にだけすんでいる動物で、札幌でも、みなさんの家や学校から見える山の中に昔から暮らしています。

ところが最近、ヒグマが山からおりてきて、畑の野菜などを食べてしまったり、街の中まで出てきてしまったりと、いろいろな問題が起きています。

そこで市役所では、みなさんの安全・安心を守りながら、人とヒグマが共に生きていくための方法を考えて「さっぽろヒグマ基本計画2023」を作っています。

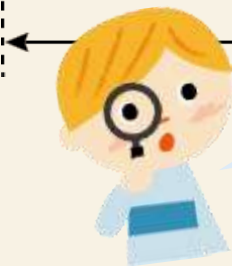
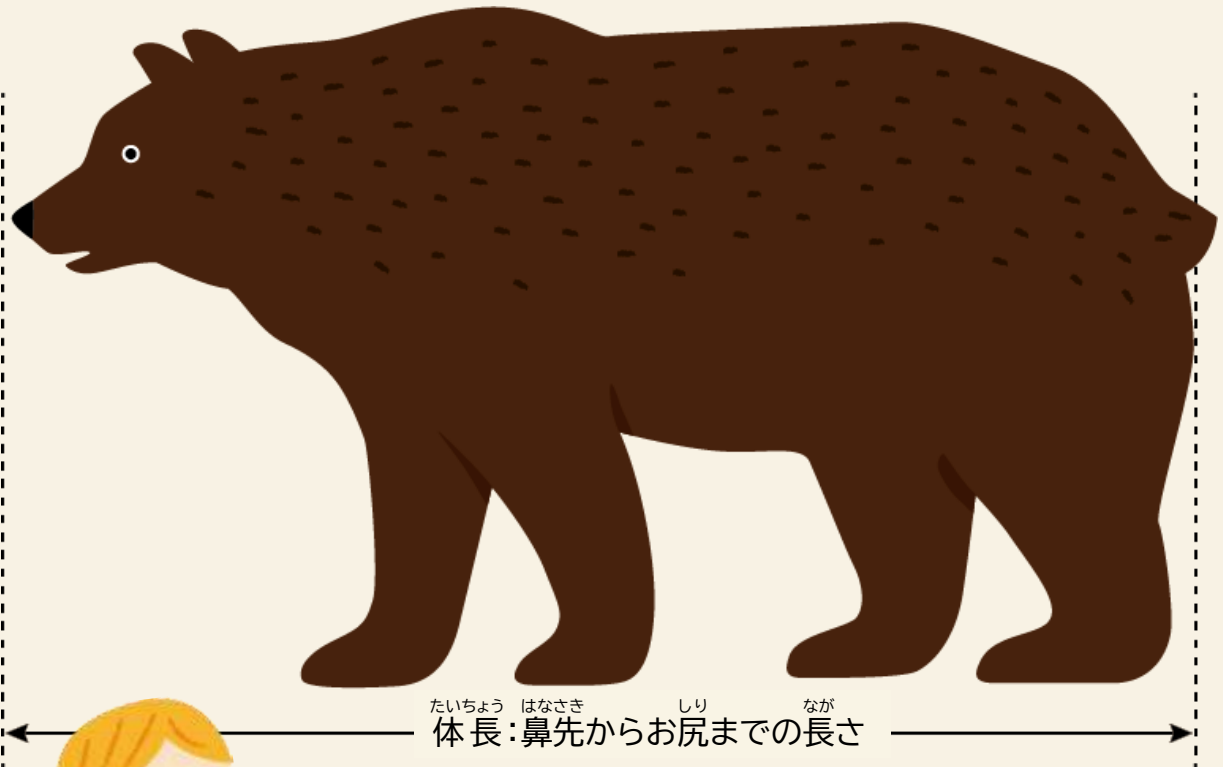
ヒグマについて、私たちに何ができるでしょうか？

みなさんも自然と仲良く暮らすことを考えてみてください。



# ヒグマってどんな動物？

にほん りくじょう やせいどうぶつ なか いちばんおお どうぶつ  
日本にすむ陸上の野生動物の中では一番大きな動物です。



たいちょう はなさき しり なが  
体長：鼻先からお尻までの長さ

たいちょうやく めーとる たいじゅうやく きろぐらむ  
オスは 体長約2 m、体重約150~400 kg

たいちょうやく めーとる たいじゅうやく きろぐらむ  
メスは 体長約1.5 m、体重約100~200 kg もあるよ！

## ◎ 何を食べるの？

ざっしよくせい どうぶつ なん た からだ おお  
雑食性の動物で、何でも食べます。体が大きいため、た  
さんの食べ物が必要で、フキなどの植物やドングリ・クルミ  
などの木の果実、アリやハチなどの昆虫も食べます。



## ◎ 1年のサイクル

がつ がつ とうみん め ざ がつ がつ  
3月～5月に冬眠から目覚めます。5月～7月はメス  
を求めてオスの行動が活発になります。10月～11  
月 12月  
月は冬眠のためにたくさん食べる時期です。12月  
～3月まで冬眠しますが、メスはこの間に赤ちゃん  
を産みます。



# さっぽろにすんでいるヒグマ

約197万人もの人が暮らす大都会のすぐそばに、ヒグマやたくさんの動物たちがすむ豊かな森があるのは、とても素晴らしいことです。

ところが最近、ヒグマが畑を荒らしてしまったり、街の中まで出てきてしまったりと、いろいろな問題が起きています。

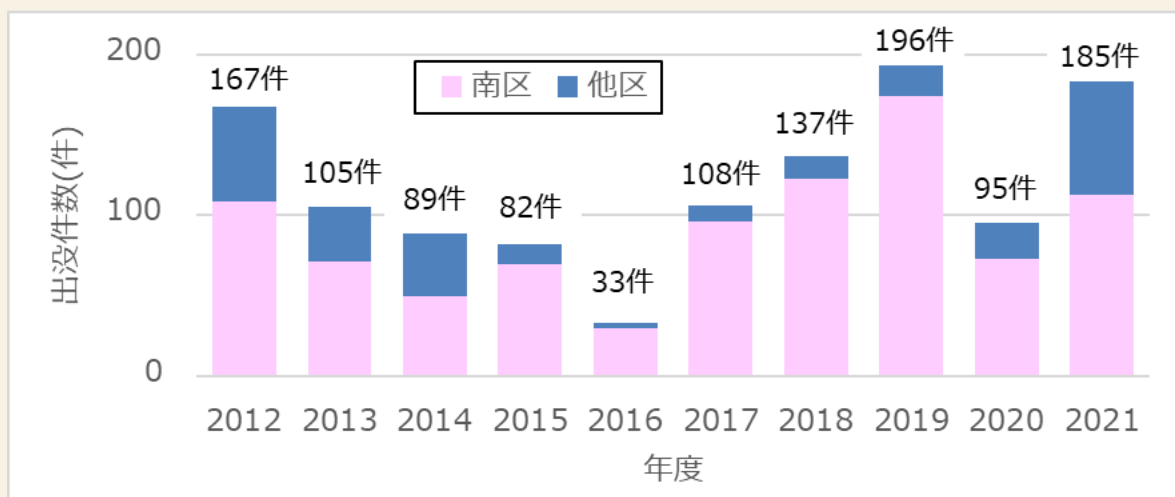
ヒグマは、山や森林に接した6つの区(中央区・豊平区・清田区・南区・西区・手稲区)でよく出ますが、最近では東区や厚別区などでも出てきています。



## ヒグマはどれくらい出てきている？

ここ数年は1年間に100～200件ほどヒグマが出ています。

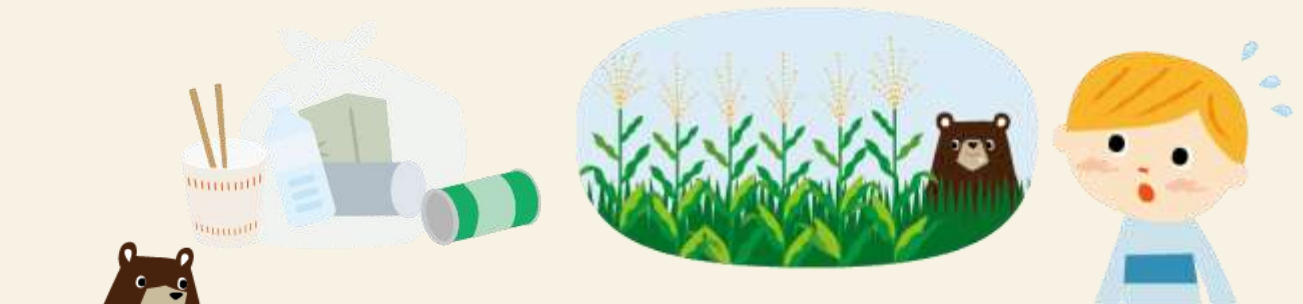
しかし、「ヒグマが出てきた数(出没情報の数)が札幌にすんでいるヒグマの数」というわけではありません。同じヒグマがくり返し見られることで、出没情報が多くなることがあります。



# 人とヒグマが共に生きていくために

## ヒグマに食べ物の味を覚えさせないで

ヒグマは、畑の野菜やくだもの、山の中に残されたごみなどを食べると、その味がわすれられなくなって、街の近くまで出てきてしまうことがあります。人目を気にせずに畑を荒らしたり、街に出てくるようになったヒグマは、市民のみなさんの安全・安心を守るため、捕まってしまうことがあります。そうならないために、人の食べ物の味をヒグマに覚えさせないことが、私たちが守るべきルールになります。



## みなさんの安全・安心を守るために

「人は街、ヒグマは森」と、暮らす場所がちがうので、出あうことがなければそれぞれ安全に安心して暮らしていけるのです。でも、私たちは森へキャンプや登山、山菜採りやキノコ採りに出かけます。ヒグマのすみかに近づいているのです。逆に、ヒグマもいろいろな理由で街の近くまでやってくることもあります。それでも、できるだけヒグマが街にこないように、人とヒグマが出あわないように工夫することはできます。



どうすれば、  
わたしたちは安全に安心して  
暮らせるかなあ？





# め ざ すがた き ほんもくひょう 目指す 姿 と基本目標

## め ざ すがた ビジョン【目指す 姿】

ひと まち もり  
人は街で、ヒグマは森で。  
わ あんぜん あんしん く め ざ  
～すみ分けによる安全・安心な暮らしを目指して～

「さっぽろヒグマ基本計画2023」では、札幌に暮らすみなさんが、安全で  
あんしん せいかつ ひと とも い め ざ  
安心した生活をおくりながら、人とヒグマが共に生きることを目指します。

### き ほんもくひょう 基本目標1

ひと せいかつけん しんにゆうよくせいさく すいしん  
人の生活圏へのヒグマ侵入抑制策を推進します

わたし ばしょ はい ふせ たいさく  
私たちのすむ場所にヒグマが入ってくるのを防ぐ対策を  
します。

### き ほんもくひょう 基本目標2

しみん あんぜん だいいち じんそく てきせつ しゅつぽつたいおう おこな  
市民の安全を第一に迅速かつ適切なヒグマ出没対応を行います

あんぜん まも しゅつぽつ  
みなさんの安全を守るため、ヒグマが出没したときには  
すみ てきせつ たいおう  
速やかに適切な対応をします。

### き ほんもくひょう 基本目標3

かんが こうどう しみん いしき じょうせい  
ヒグマについて 考え行動する市民の意識を醸成します

みなさんにヒグマのことを知ってもらい、考えてもらう  
き かい  
機会をつくっていきます。

## たいしよ ゾーニングで対処する

ひと で かんが かた  
人とヒグマが出あわないために、ゾーニングという 考え方があります。  
ゾーニングとは「場所を分ける」ということです。



# ゾーン管理とは

札幌市を4つの地域(ゾーン)に分類し、人とヒグマのすむ場所を分けます。

## 都市近郊林ゾーン

市街地ゾーンとつながっていて、登山など、人もよく利用する森林がある場所。ヒグマがすみ着いたら困る場所

- ヒグマは草に隠れて移動するので、草刈りをしたり、見回りをしてヒグマにとって居心地の悪い環境をつくります。
- 人をおそう危険があるヒグマは捕まえることがあります。

## 市街地ゾーン

人がたくさん暮らしていて、ヒグマが入ってきたら困る場所

- ヒグマが入ってきた場合は捕まえます。
- ヒグマが入ってこないように普段からごみの管理をしたり、草刈りをしてヒグマが隠れないように対策をします。



## しんりん 森林ゾーン

ひと く ばしよ とお ばしよ しんりん く ばしよ  
人が暮らす場所から遠い場所にある森林。ヒグマが暮らしている場所

- はい ばあい ひと ちゅうい ばしよ  
入る場合は、人のほうが注意しなければいけない場所です。
- とざん すす おと な ひと  
登山などでは鈴やラジオで音を鳴らし「人がいる」ことをヒグマに知らせます。
- た もの す のこ  
食べ物を捨てたり、ごみを残したりしないようにします。



## し が い ちしゅうへん 市街地周辺ゾーン

のうち かじゅえん ひと かつどう ばしよ はい  
農地や果樹園があり、人が活動している場所。ヒグマが入ってきたり、す  
み着いたりしないようにする場所

- かんり かじゅ ほうきかじゅ き はたけ かていさいえん  
管理されなくなった果樹(放棄果樹)を切ったり、畑や家庭菜園などを電気柵で囲ったりして、ヒグマを寄せ付けないようにします。
- くさ か はい ふせ  
草刈りなどでヒグマが入ってくるのを防ぎます。
- ひと きけん つか  
人をおそう危険があるヒグマは捕まえることがあります。



# とくみ どんな取組をするの？



## 基本目標1

わたし ばしよ はい ふせ たいさく  
私たちのすむ場所にヒグマが入ってくるのを防ぐ対策を  
します

### 1. ヒグマを寄せ付ける作物やごみの管理を強化します

- 庭や畑を電気柵で囲うなどの対策を広く伝えていきます。
- ヒグマの食べ物となる「農作物・家庭菜園の作物」は早めに収穫するよう呼びかけます。
- ヒグマを寄せ付ける可能性がある「家庭ごみや肥料など」の正しい管理方法についてよく調べ、考えていきます。



でんきさく でんき なが さく  
電気柵(電気が流れる柵)など  
でヒグマを畑に近づけないようにしています。

### 2. ヒグマの通り道となる緑地の管理を行います



- 地域住民や学生などと一緒に、草刈り活動やごみ拾い活動などに取り組んでいきます。
- ヒグマを寄せ付けないようにするため、管理されなくなった果樹(放棄果樹)を切る活動を進めていきます。

ヒグマは草むらなど陰に隠れて移動します。やぶになっている草むらを刈って、ヒグマの通り道を作らない工夫をしています。

### 3. 最新技術を使って、より効果的なヒグマ対策を進めます

- ヒグマの通り道となる場所で、カメラなどでの監視を強化します。
- ドローンやカメラなどの最新技術の情報を集め、積極的に対策として取り入れていきます。

しがいち しゅつぽつけんすう げん めざ  
「市街地ゾーン」でのヒグマの出没件数50%減を目指します

▶ 32件(2021年度)→16件(2026年度)

のうぎょうひがい かていさいえんひがい めざ  
農業被害、家庭菜園被害ゼロを目指します

▶ 14件(2021年度)→0件(2026年度)



# とくみ どんな取組をするの？

## 基本目標2

みなさんの安全を守るため、ヒグマが出没したときには  
速やかに適切な対応をします

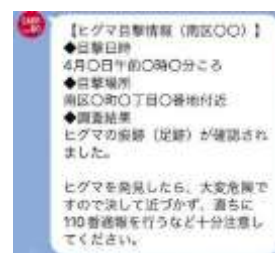
### 1. ヒグマが出てきたときの体制を強化します

- ヒグマが出てきたときは、ヒグマへの対応や住民への対応の方法を決めて、住民の安全を守ります。
- 現地調査を行う場合の安全対策を強化します。
- ヒグマが市街地に入ってきた場合に備え、警察やハンターの方たちと訓練などを行う仕組みを整えます。



### 2. ヒグマ出没情報などを正確かつ速やかに発信します

- みなさんが利用しやすく、わかりやすいヒグマ出没情報を発信します。
- 緊急時(今まさにヒグマが出没している時など)には、広報車などによる呼びかけや見回りを行います。



毎年、ヒグマによる人身事故ゼロを目指します



# とくみ どんな取組をするの？



## 基本目標3

みなさんにヒグマのことを知ってもらい、考えてもらう  
機会をつくっていきます

### 1. ヒグマについて学ぶさまざまな場を作ります

- ヒグマについて知ってもらうために、ヒグマの講座やイベントを増やします。
- 広報さっぽろやリーフレットを使う  
た啓発を行います。



### 2. 公園、キャンプ場などでのヒグマ対策を後押しする仕組みを作ります

- 公園で働く人や農家さんなどを対象にした、ヒグマ対策の研修を行います。
- みなさんが安心してサービスを利用できるように、森林のそばにある公園やキャンプ場、果樹園などでのヒグマ対策を後押しする仕組みを作ります。



ヒグマに出あわない・寄せ付けない対策を7割の市民に理解してもらうこと  
を目指します





## ほか とりくみ その他の取組



### モニタリング(ＤＮＡ分析)

ＤＮＡ分析からヒグマの行動や生息状況などを調べます

- 生息状況調査や現地調査で取れるヒグマの体毛やフンからＤＮＡ分析を行います。
- ＤＮＡ分析の結果から、ヒグマの行動などを調べ、より有効なヒグマ対策に結び付けます。



### ヒグマ対策重点エリア

ヒグマがすみ着いたら困るエリアでの対策を強化します

- 三角山や藻岩山などの街のすぐそばの山林で、ヒグマにとって居心地の悪い環境づくりを行います。
- 住民や登山をする方などへの普及啓発を重点的に行います。



### 近隣自治体との連携強化

「さっぽろ連携中枢都市圏※」での連携を強化します

- ヒグマの出没に備え、普段から周りの市町村間で情報共有をしておきます。
- 市町村をまたぐ調査や対策のほか、住民への普及啓発を行います。



「さっぽろ連携中枢都市圏」とは…

より魅力的なまちづくりを目指し、札幌市と近隣11市町村(小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町)で形成されたもの。

# わたし 私たちにできること

## ヒグマのことをよく知ること

ヒグマがどういう動物か、どんなものを食べているのかなど、  
ヒグマについてよく知ることが大事です。  
フンや足跡を覚えておくと、野外で見つけたときに、近くにヒグマがいることがわかります。見つけたらすぐにその場を離れましょう。

## ヒグマにあわないように注意すること

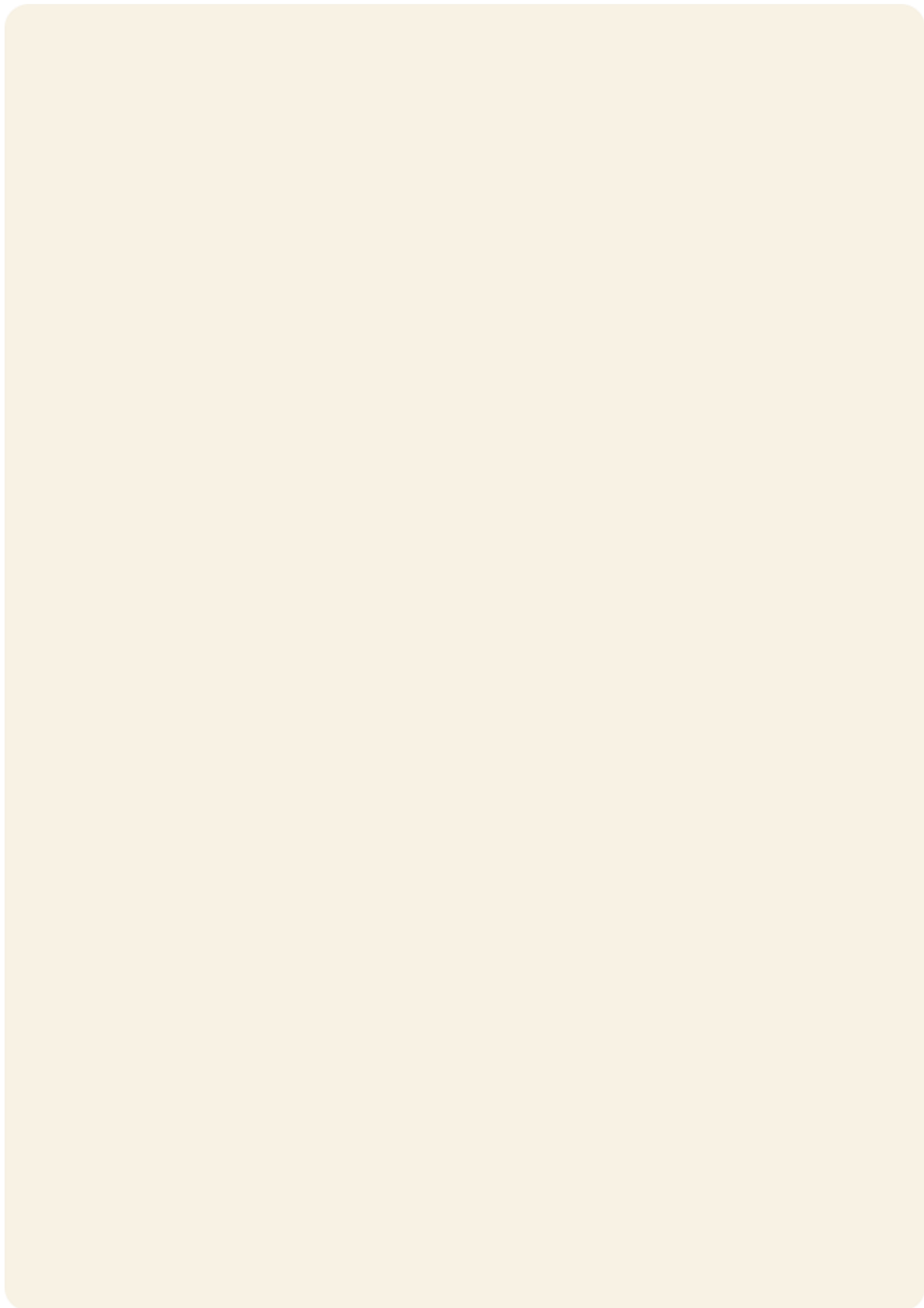
山や森に入る時は、必ず何人かで入り、話し声、ラジオ、笛、クマ鈴などの音で、人がいることをヒグマに知らせてあげましょう。

## ヒグマが街に近づかないようにすること

山や森ではごみを捨てずに、必ず持ち帰りましょう。  
街の中でもごみステーションのごみ出しルールを守り、ごみをヒグマの食べ物にしないように気をつけましょう。







# 「さっぽろヒグマ基本計画2023」ご意見募集用紙

このパンフレットをよ読んで、気づいたことやかんがえたことをおしえてください。(令和5年(2023年)3月17日(金)必着です)



なまえ  
お名前

がくねん  
学年

## 【ご意見の提出先・問合せ先】

さっぽろし かんきょうきょく かんきょう と し すいしんぶ かんきょうきょうせい たんとう か  
札幌市 環境局 環境都市推進部 環境共生担当課

〒060-8611 さっぽろしちゅうおうくた じょうにし ちょうめ さっぽろしやくしよほんちようしや かい  
札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁 舎12階

でんわ ふあつくす  
電話:011-211-2879/FAX:011-218-5108

でんし  
電子メールアドレス: [higumakeikaku@city.sapporo.jp](mailto:higumakeikaku@city.sapporo.jp)

れいわ ねん ねん がつ にち きん ひつちやく じさん ゆうそう ふあつくす いー おく  
※令和5年(2023年)3月17日(金)必着で、持参または郵送、FAX、Eメールなどにより送ってください。

じさん ばあい うけつけじかん へいじつ ごぜん じ ふん ごご じ ふん でんわ うけつけ おこな  
※持参の場合、受付時間は、平日の午前8時45分から午後5時15分までです。電話による受付は行っていない。

がっこう きにゅうようし と ばあい がっこう ていしゆつ  
※学校で記入用紙を取りまとめている場合には、学校に提出してください。